



13

GUNDAM GP01Fb FULL BURNERN

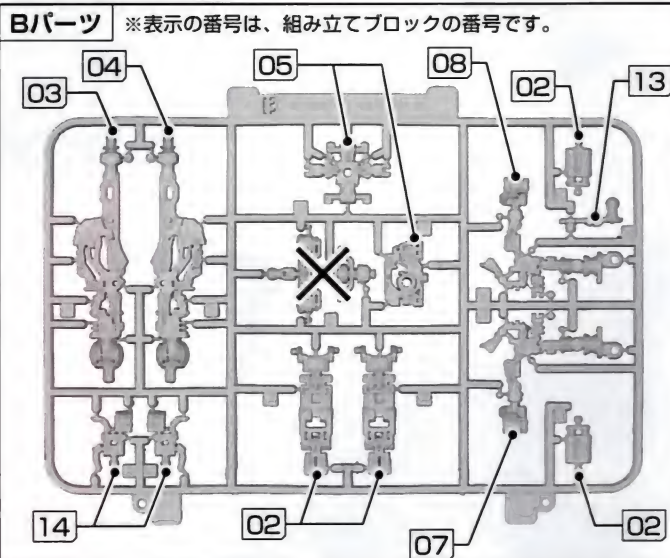
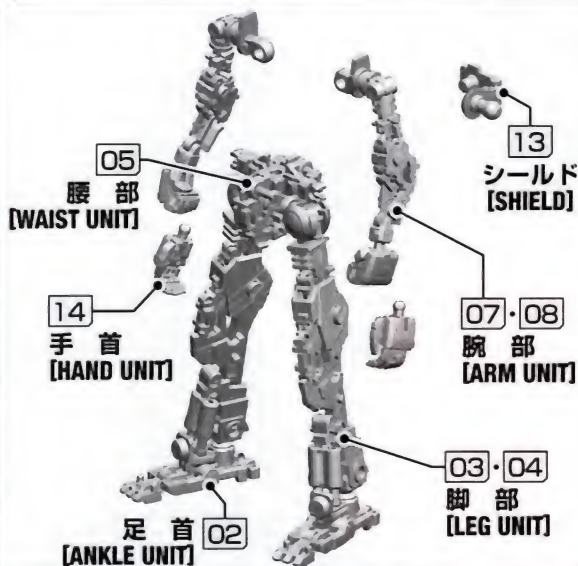
E.F.S.F. PROTOTYPE MULTIPURPOSE MOBILE SUIT
リアルグレード 1/144 スケールモデル ガンダム試作1号機 フルバーニアン

Real Grade is a new brand which, as its name indicates, aimed to be "the real thing".
We want to tell all generations who know Gundam of the pleasure and excitement of making a mobile suit.
Please be sure to enjoy the numerous gimmicks incorporated in this palm-size 1/144 scale model.



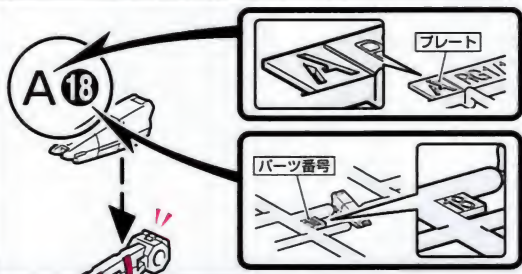
組み立て前の基本説明

アドヴァンスドMSジョイント5(Bパーツ)のフレーム構成は、図のようになります



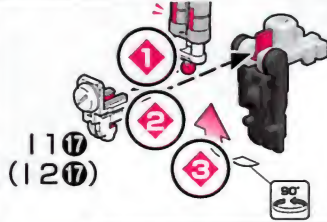
部品の探しかた

※説明書のパーツに書いてある番号と同じものをランナーから探しましょう。(パーツリスト表と合わせて見ると、探しやすいでしょう。)



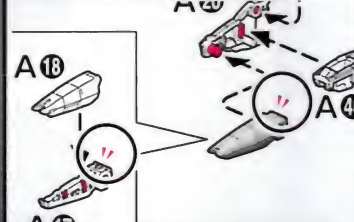
数字の順に組み立ててください

※組み立て図中に◆◆◆のついている組み立ては、数字の順に組み立ててください。

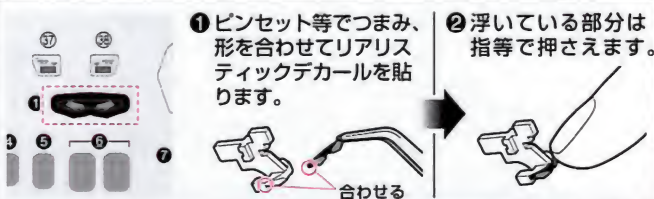


部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



リアリスティックデカールの貼りかた



アンダーゲートの切り取りかた

▶アンダーゲート マークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

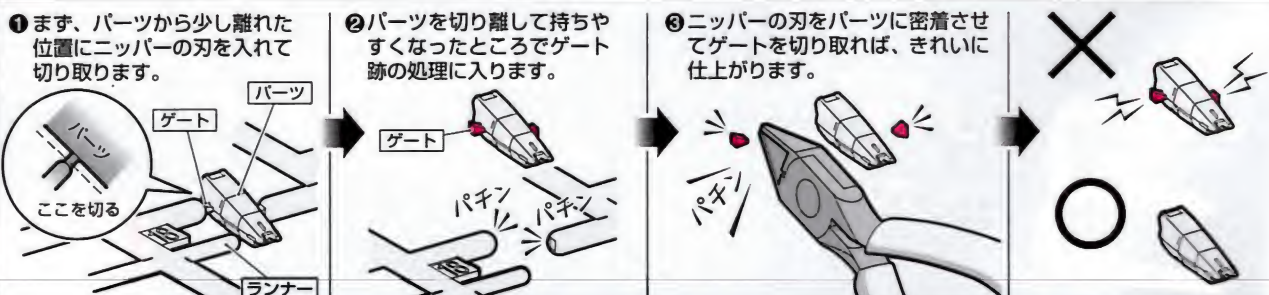
※説明書で「アンダーゲート」と表記されているパーツには裏側等にゲートがあります。
◆の印が付いている部分は忘れないようにきれいに切り取ってください。

アンダーゲート

116



パーツの切り取りかた



△ 注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が悪く誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

〈組み立てる時の注意〉

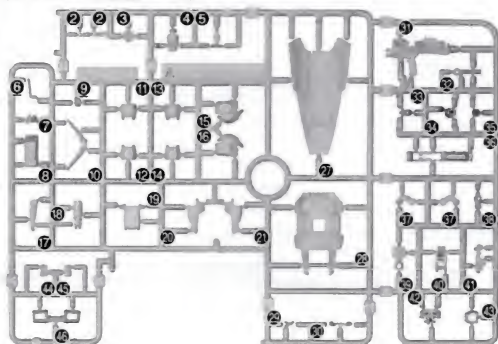
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

パーツリスト

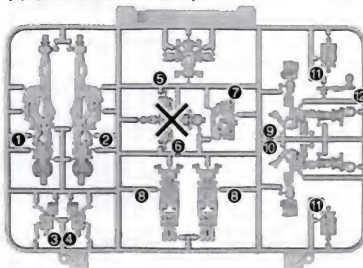
※細かいパーツやデカールは破損や紛失の恐れがあります。取り扱いには十分注意してください。ピンセット等をご使用になると便利です。(道具類は付属しておりません。別にご用意ください。)

(X印は使用しないパーツです。)

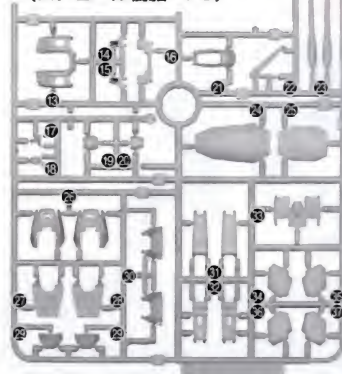
Aパーツ(イロブラ) アンダーグート有り
(スチロール樹脂: PS)



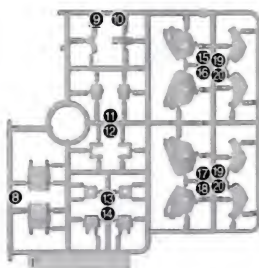
Bパーツ(ダークグレー)
(ABS樹脂: ABS)
(ポリプロピレン: PP)



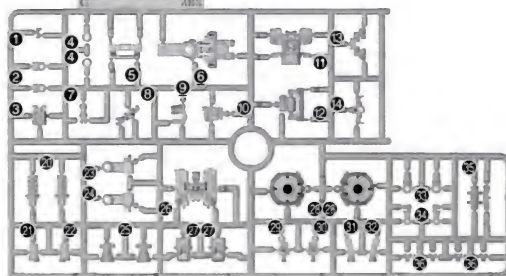
Cパーツ(イロブラ)
アンダーグート有り
(スチロール樹脂: PS)



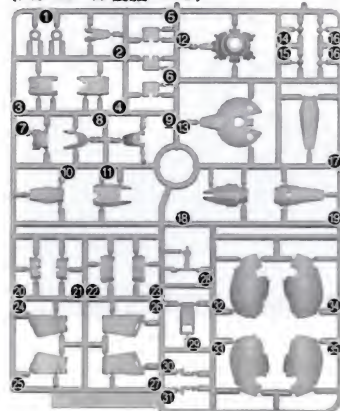
Fパーツ(ダークホワイト)
(スチロール樹脂: PS)



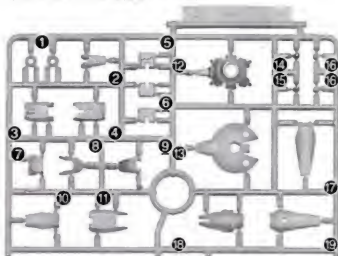
Gパーツ(ダークグレー) (ABS樹脂: ABS)



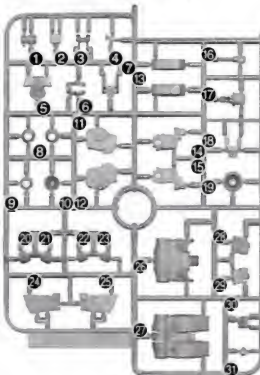
H1パーツ(ホワイト) アンダーグート有り
(スチロール樹脂: PS)



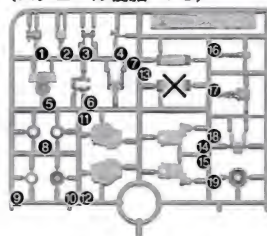
H2パーツ(ホワイト) アンダーグート有り
(スチロール樹脂: PS)



I1パーツ(グレー)
アンダーグート有り
(スチロール樹脂: PS)



I2パーツ(グレー) アンダーグート有り
(スチロール樹脂: PS)



※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

リアリスティックデカール……………1枚

GUNDAM GPO1Fb ZEPHYRANTHES FULL BURNER



RX-78GPO1 ガンダム試作1号機は、地球連邦軍とAE（アナハイム・エレクトロニクス社）が共同で推進する「ガンダム開発計画」によって極秘裏に試作された実験用のガンダムタイプMS（モビル・スーツ）である。公国軍残党「デラズ・フリート」によって強奪されたRX-78GPO2Aガンダム試作2号機を追って宇宙に上がった後、ゲルググM（マリネ）隊との戦闘において大破したため、AEのフォン・ブラウン工場において大規模な改修を受けることとなった。

当初の予定では、汎用性の確保に関しては主機であるコア・ファイターIIなどを換装する事で対応する予定で、他にはショルダーバーニアポッド、脚部へのプロペラントタンクなどの追加のみという単純な工程が想定されていた。しかし、機体の損壊状況を鑑み、完全な宇宙用の機体として仕様変更されることとなった。並行して各種のプランとそれまでの実働データが反映され、コア・ファイターIIは全面的に改装されることとなった。ブーストポッド装備の他、エアインテークユニットはリバー・スラスターに、エンジンブロック自体もMS形態時にはフレキシブルスラスターユニットとして機能するよう大改造が施された。特に上半身の各バーニアスラスターの可動域が拡大し、機動性や運動性が格段に向上することとなった。基本的な追加装備は「GPO1」の設計案に盛り込まれていたものの、ここまで大規模な仕様変更は想定されておらず、AEサイドとしても鑑別する必要があったため、機体ナンバーも「GPO1Fb」と変更された（これはあくまで便宜上のもので制式番号ではない）。



コア・ファイターII-Fb

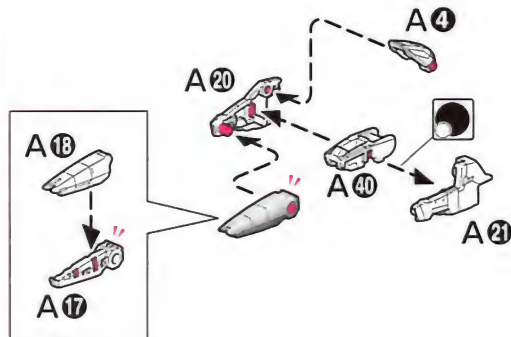
本来は主機の交換のみで対応可能であったはずの「GPO1」の「宇宙用」への改装は、大規模な設計変更を伴いつつ実施されることとなった。主な改造点は空力装備のオミット、メインジェネレーターの高出力化、ビーム・ガン/サーベルユニットのレイアウト変更、熱核ジェット/ロケットから熱核ロケットへの換装、リバー・スラスターの追加装備など、コックピットブロック以外はほとんど新造されたと言っても過言ではない。プロペラントタンクを兼ねたユニバーサル・ブーストポッドの増設は当初から織り込み済みだったが、機体前後部のジョイント構造に大幅な設計変更が施され、その挙動は航空戦闘機としては画期的な試みとなるはずであった。結果的に、脱出力バレルとして、あるいは航空戦闘機としての運用実績はほとんど残されていない。

CORE FIGHTER II-Fb

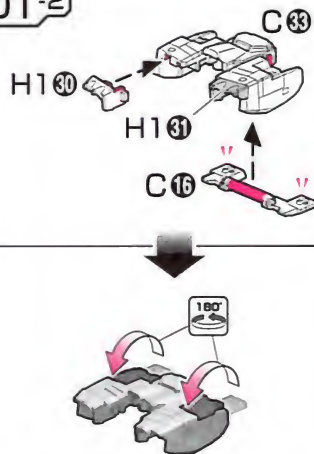


GUNDAM GPO1Fb FULL BURNER

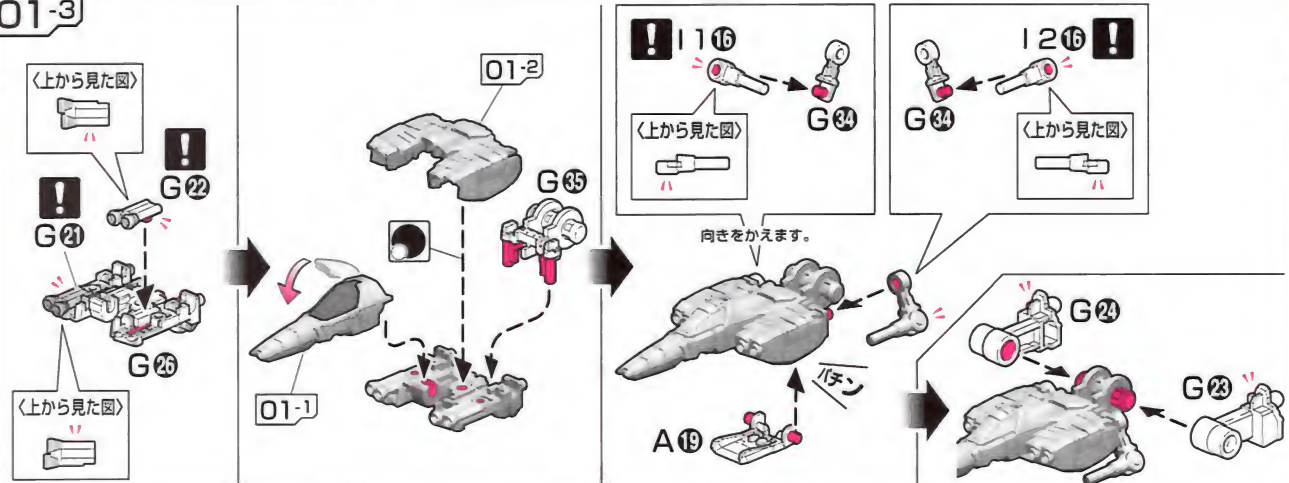
01-1 [コア・ファイターII-Fbの組立] CORE FIGHTER II-Fb

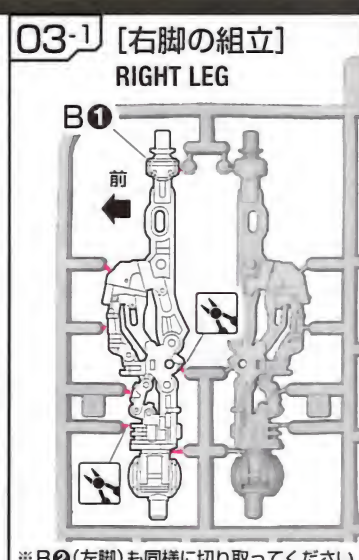
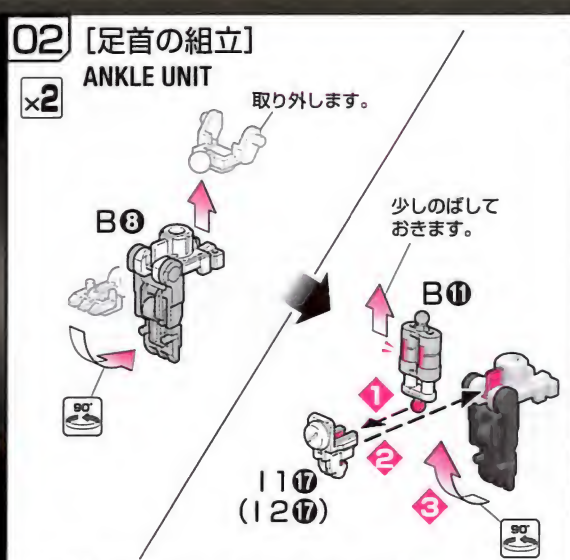
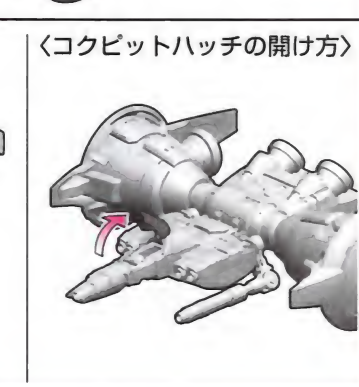
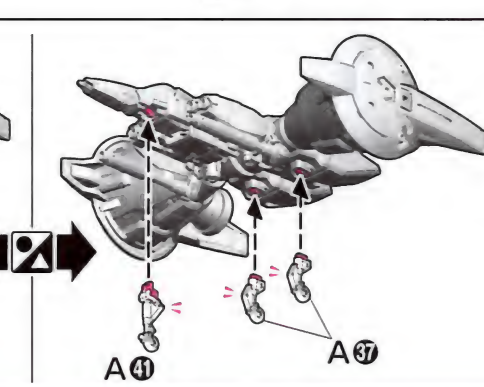
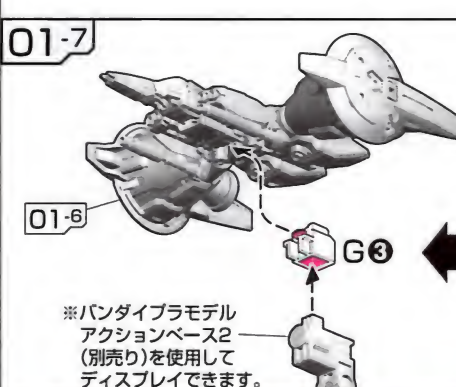
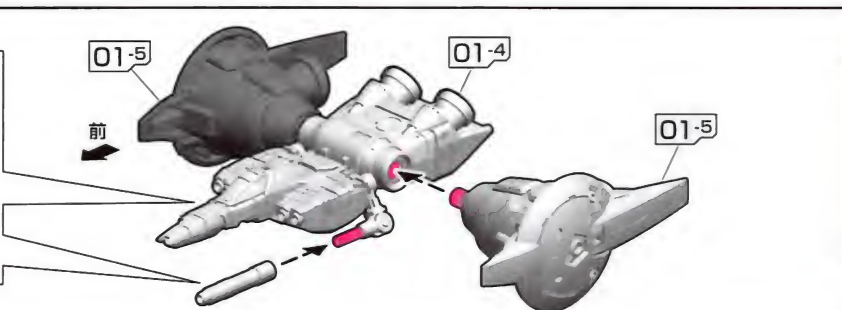
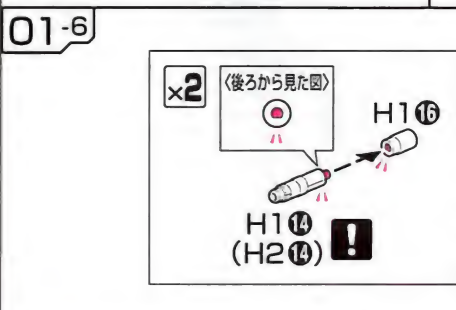
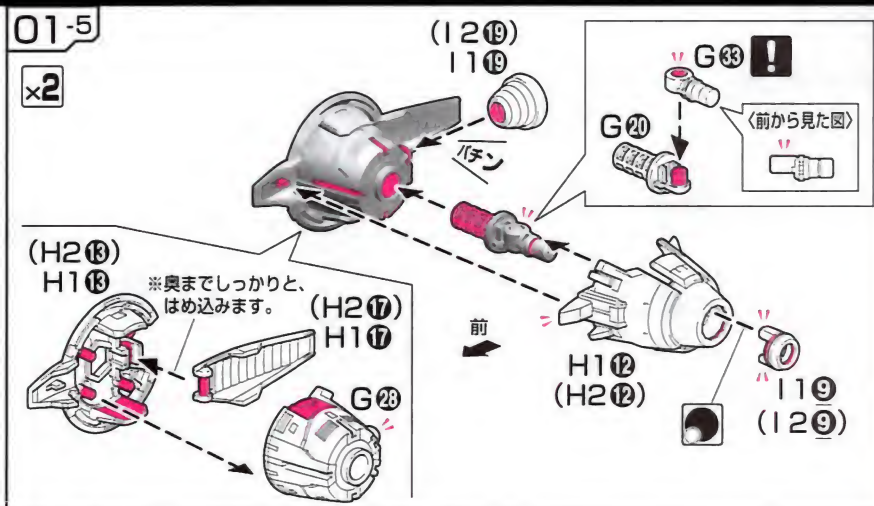
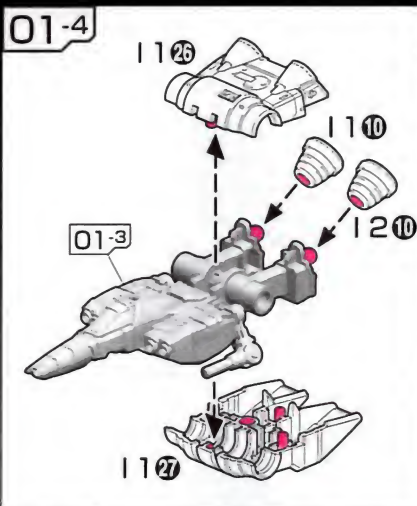


01-2



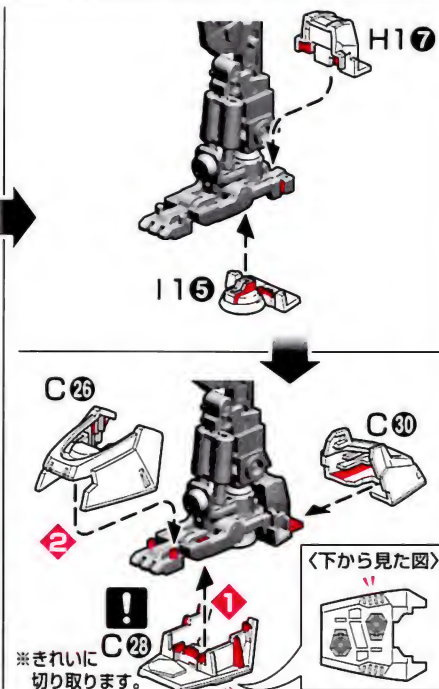
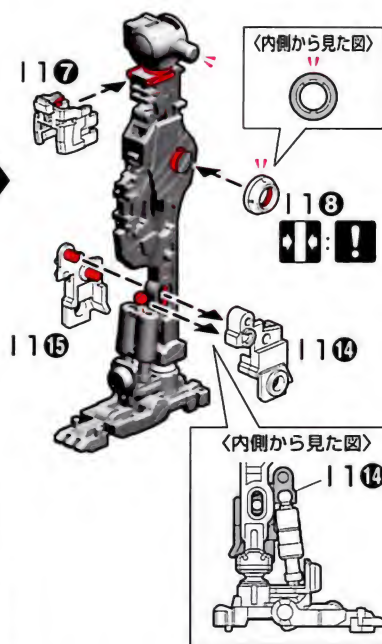
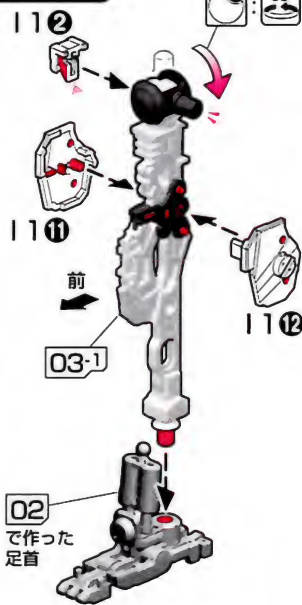
01-3



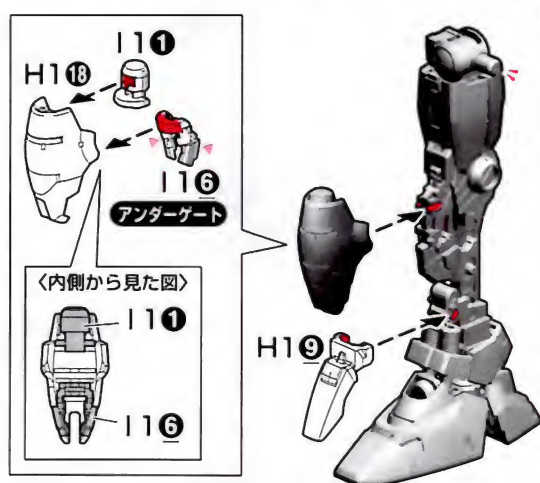
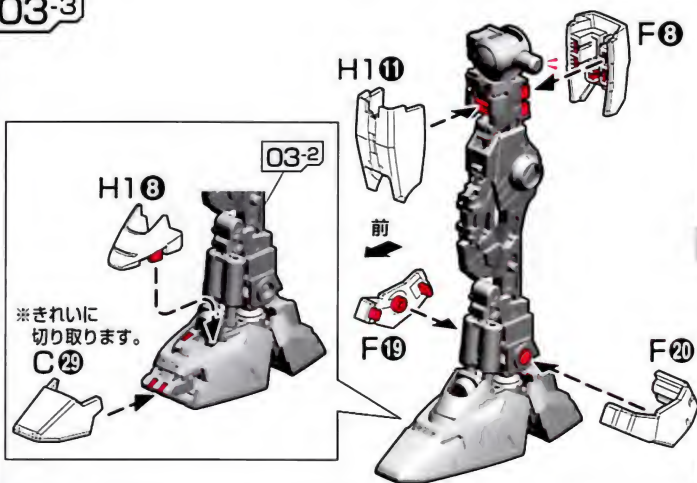


03-2

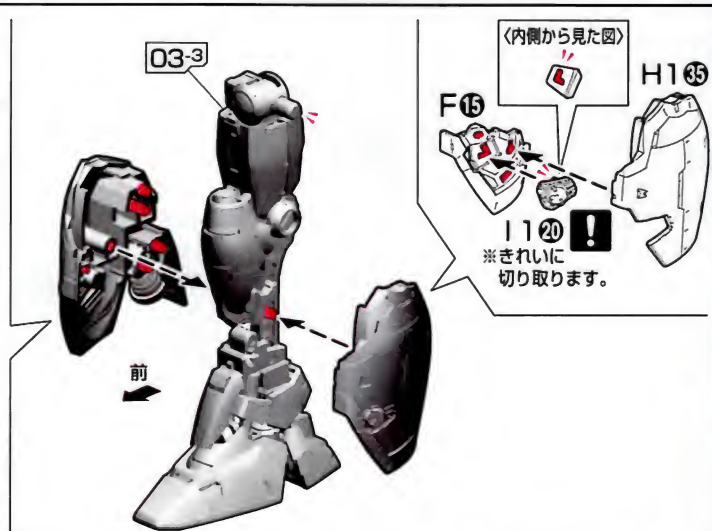
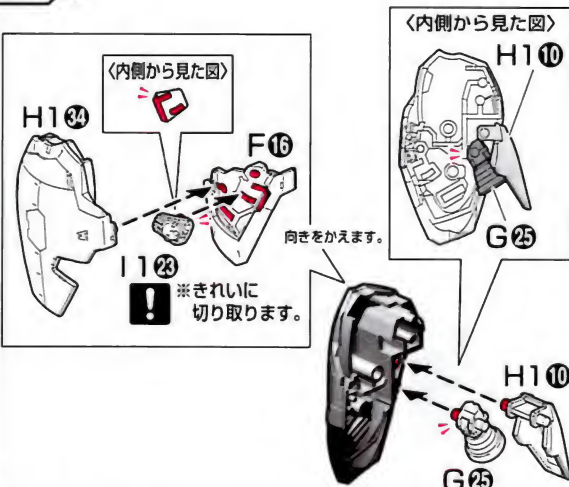
アンダーゲート



03-3

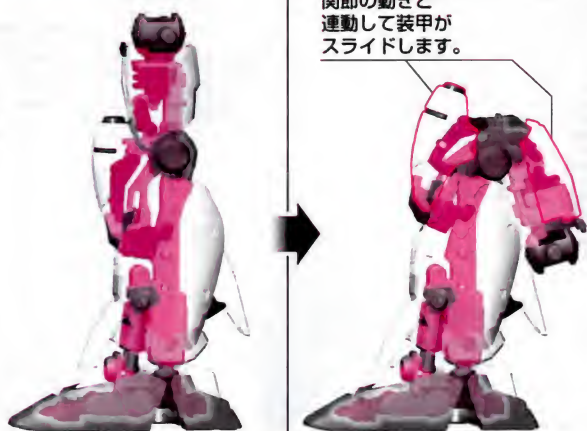


03-4



右脚の可動

※可動させる際にはスライドする
装甲パーツを押さえないでください。
フレームが破損する恐れがあります。



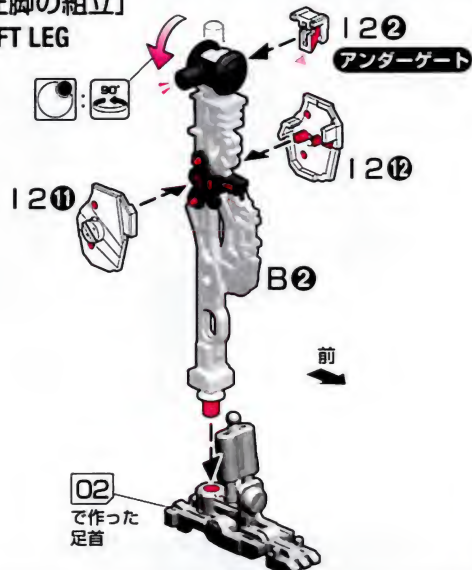
関節の動きと
運動して装甲が
スライドします。

※左脚も完成後、同様に動かしてください。

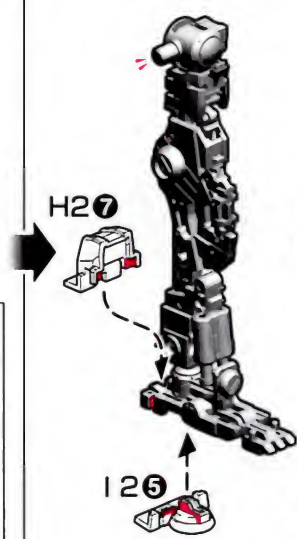
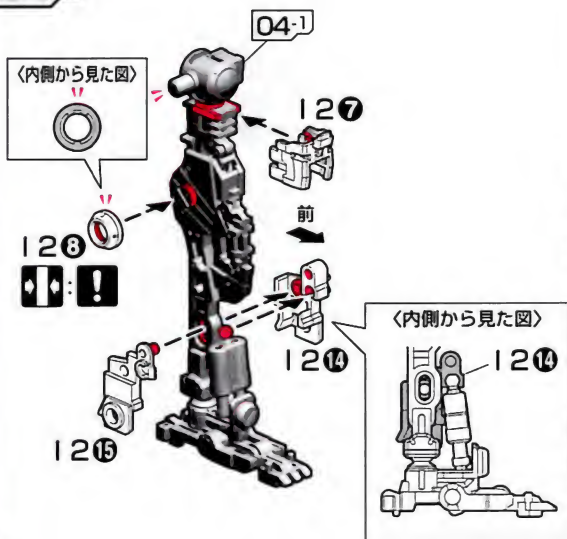
04-1

[左脚の組立]

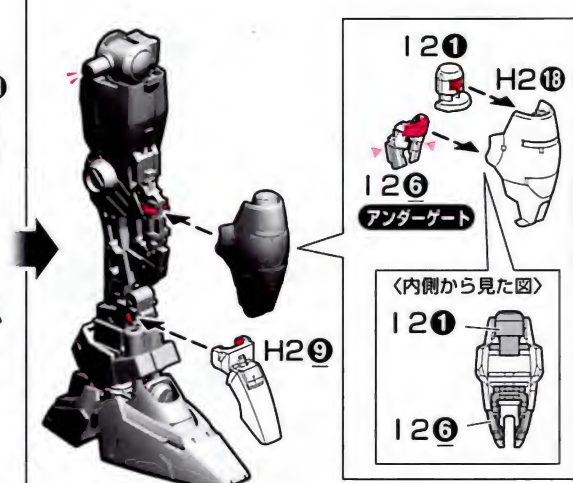
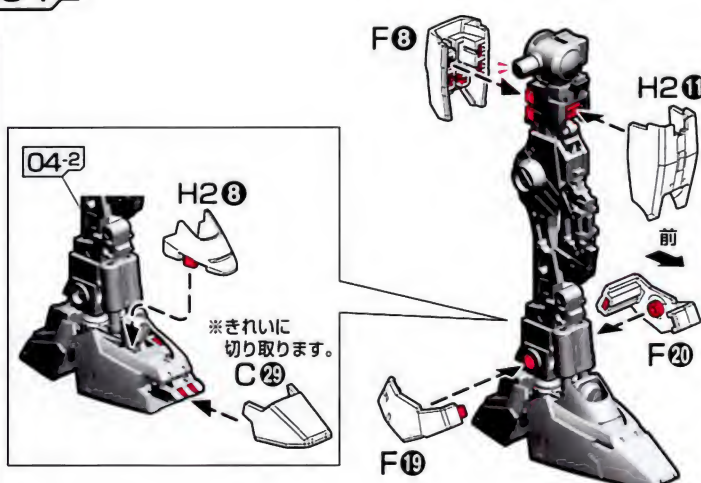
LEFT LEG



04-2

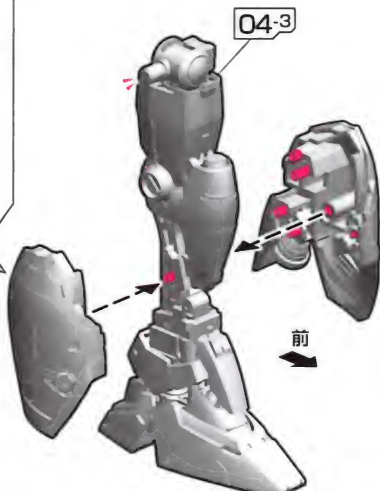


04-3



04-4

〈内側から見た図〉



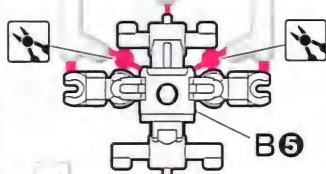
〈内側から見た図〉



〈内側から見た図〉



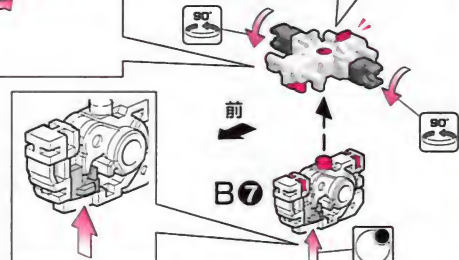
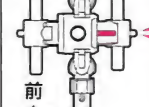
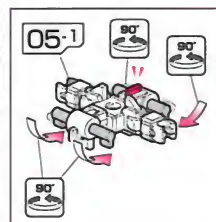
WAIST UNIT

05-1 〔腰部の組立〕
WAIST UNIT

05-2

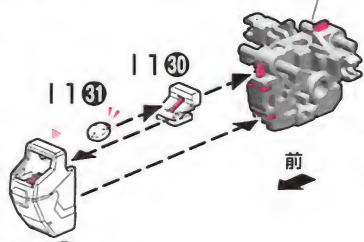
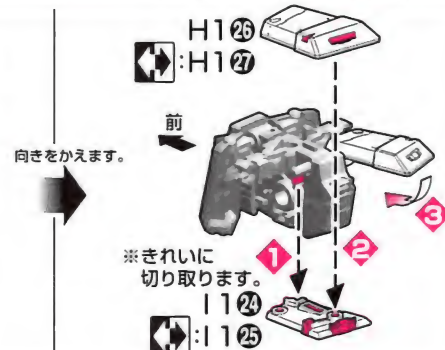
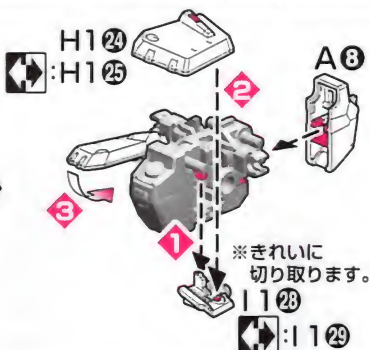
〈横から見た図〉

〈上から見た図〉



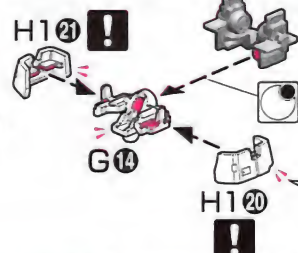
05-3

05-2

H1 29
アンダーゲート

05-4

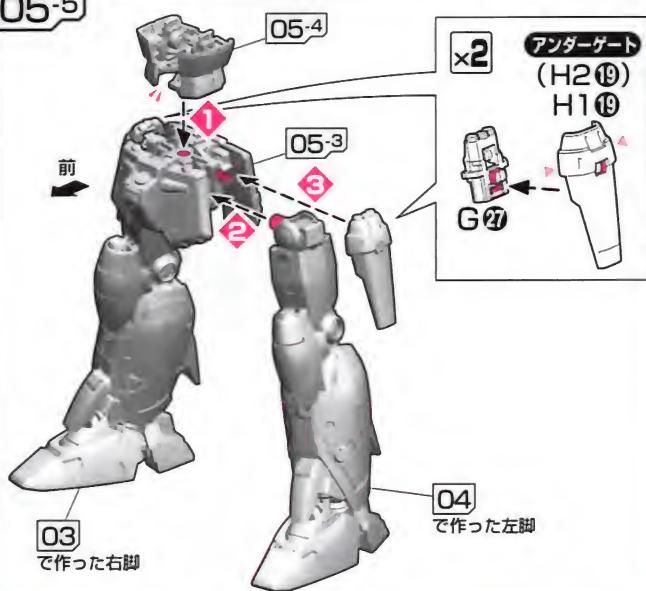
〈上から見た図〉



〈外側から見た図〉



05-5



BODY UNIT

GUNDAM GP01 FULL BURNER
E.F.S.F. PARTIAL TEST MOBILE SUIT

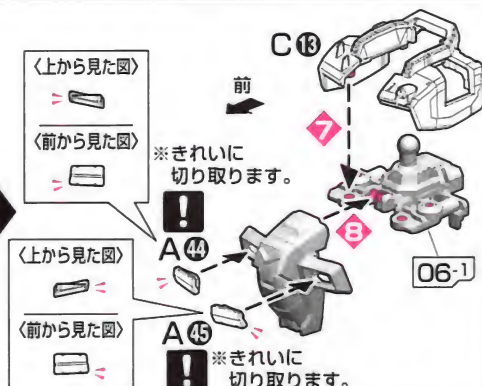
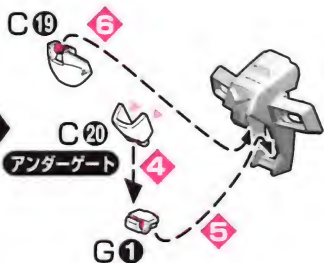
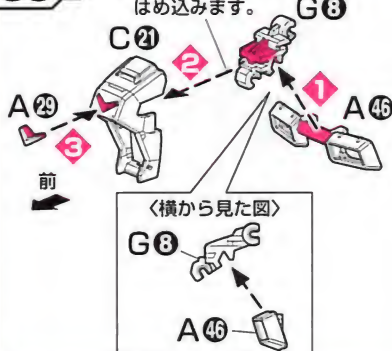
06-1 [胸部の組立]

BODY UNIT



06-2

※奥までしっかりと、はめ込みます。



VERNIER

MSはもともとAMBAC機動(アクティブ・マス・バランス・オート・コントロール=能動的質量移動による自動姿勢制御)によって、既存の宇宙艦艇などとは次元の異なる機動性を実現した宇宙兵器として誕生した。さらに、一年戦争における実際の運用法の蓄積に伴って、質量重心から離れた位置に取り付けたバーニアスラスタを積極的に併用する事で、運動性や機動性を格段に向上させることが判明した。かくして、かつてはジンバルが設置された位置で“首を振れる”範囲内でしかベクトルを調節できなかったバーニアスラスタは、多種多様な形状や運用法を獲得し、そのMSの性能を左右するほどの装備として認識されることとなったのである。



ユニバーサル・ブースト・ボッド
プロペラントタンクと一体化した自由度の高いバーニアユニットを、ヒンジとターレットで自在に変位させる補助機動装備。本来の“GP01”設計案にも含まれていた。



ショルダーバーニアボッド
ショルダーアーマーの上面装甲板と換装する補助機動装備。“GP01”設計案にも含まれており、最大稼働時にはバーニアノズルが基部からせり出して可動する。



リバース・スラスタ
コア・ファイターII-Fbのインテーク部分に増設された補助機動装備。通常は耐弾性向上のため装甲内に収納されているが、緊急時にはせり出して機体を可動する。



※画像には
バンダイプラモデル
アクションベース2
(別売り)を使用しています。

※組立図中の
記号説明

x2

部品を数値の
個数作る

!

向きに注意して
組み立てる

9

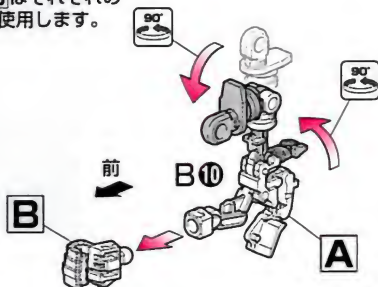
ARM UNIT

GUNDAM GP FULLY ARMED

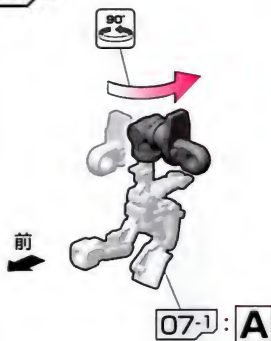
07-1 [右腕の組立]

RIGHT ARM

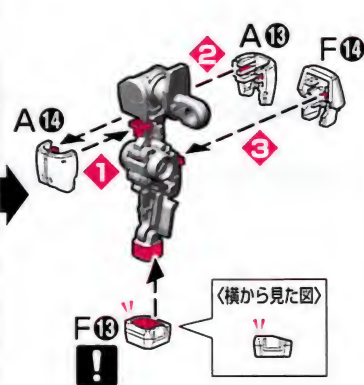
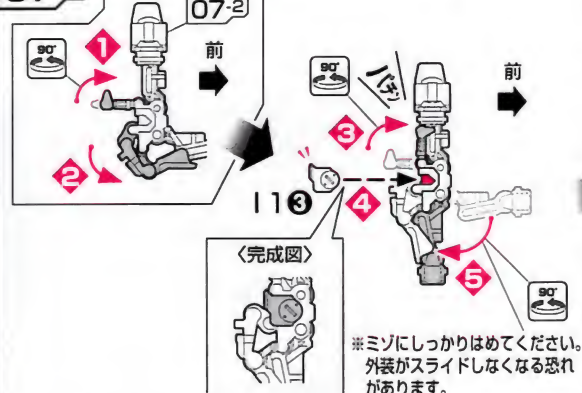
※A・Bはそれぞれの工程で使用します。



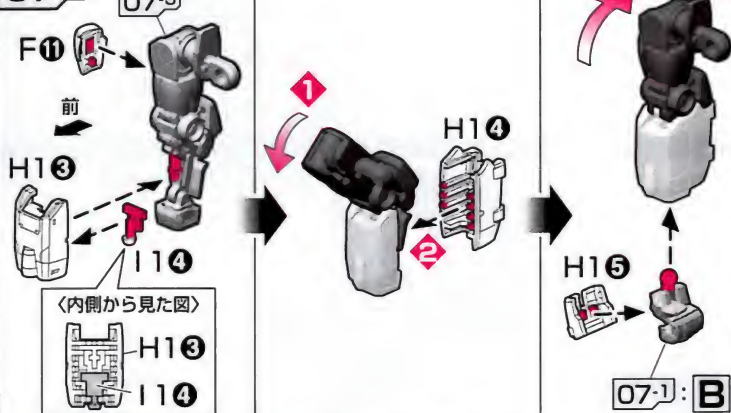
07-2



07-3

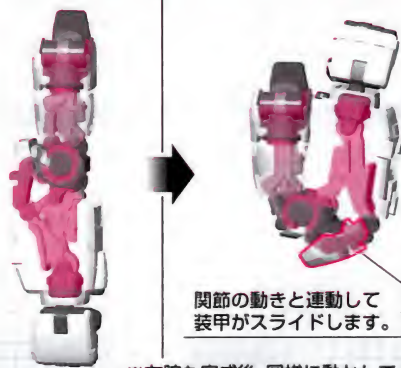


07-4



右腕の可動

※可動させる際にはスライドする装甲パーツを押さえないでください。フレームが破損する恐れがあります。

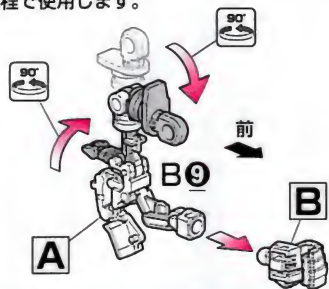


※左腕も完成後、同様に動かしてください。

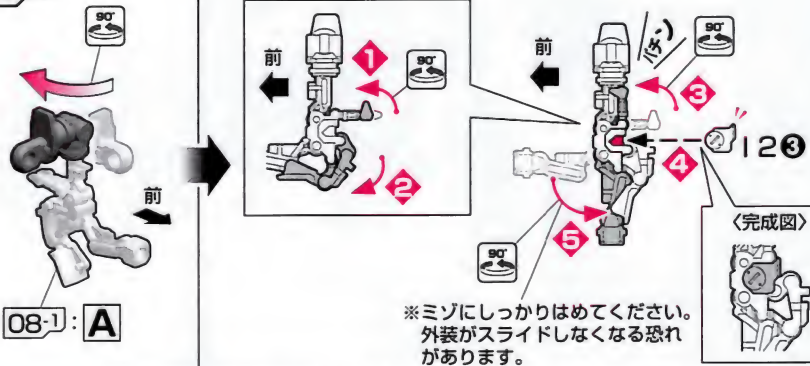
08-1 [左腕の組立]

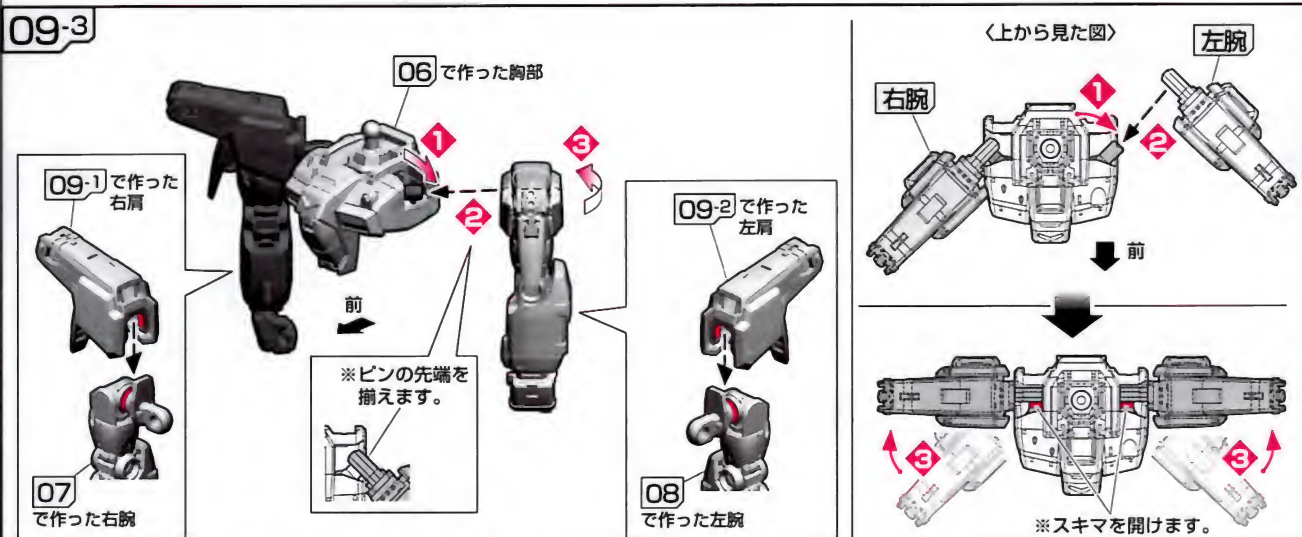
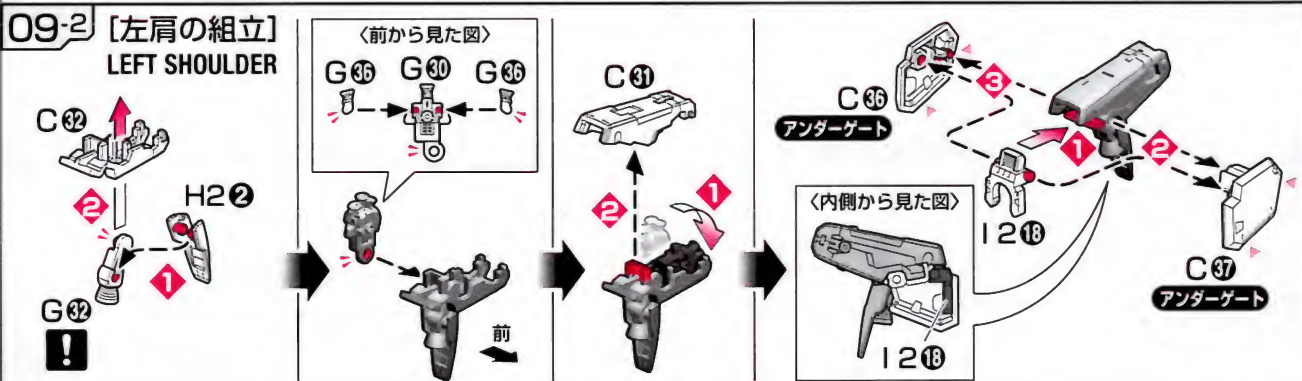
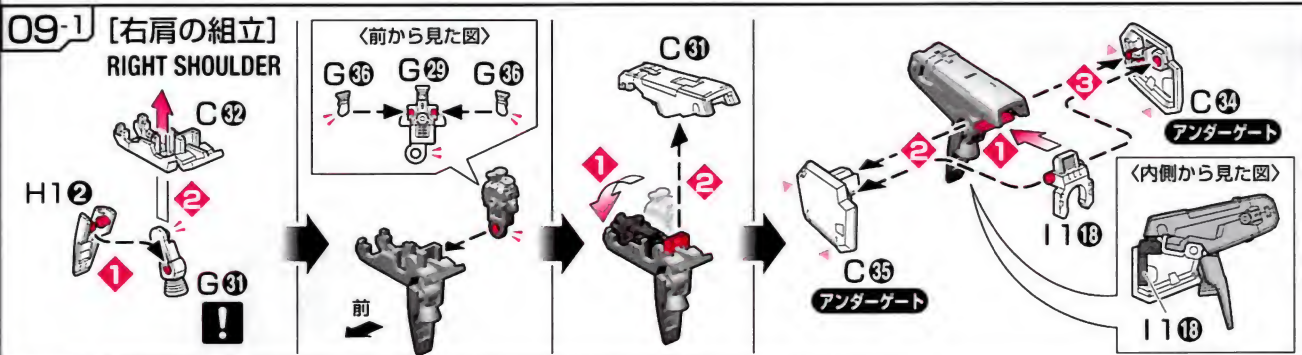
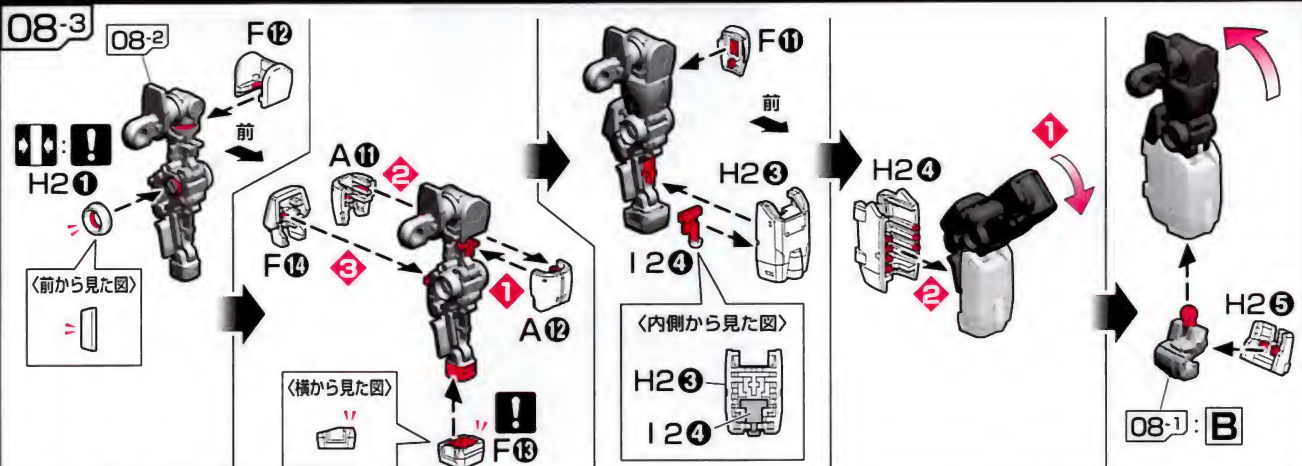
LEFT ARM

※A・Bはそれぞれの工程で使用します。

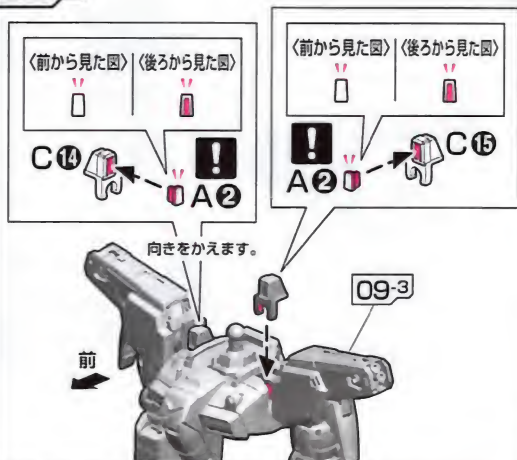


08-2

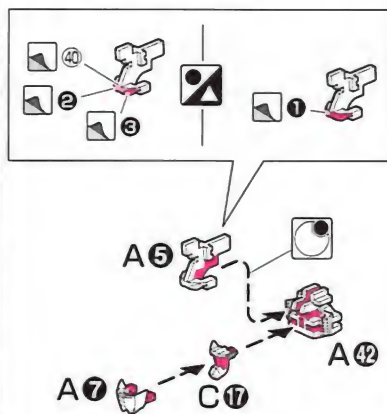




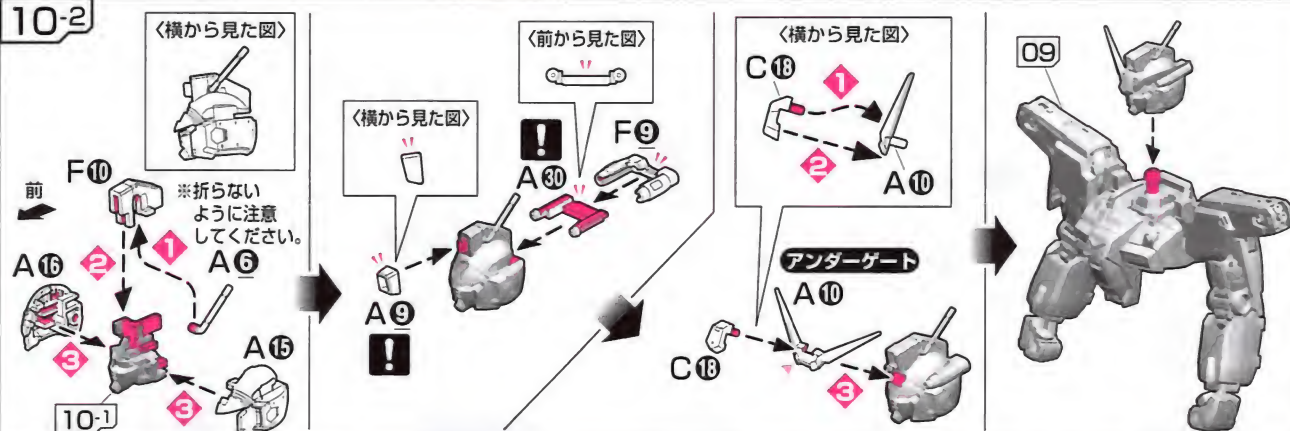
09-4



HEAD UNIT

10-1 [頭部の組立]
HEAD UNIT

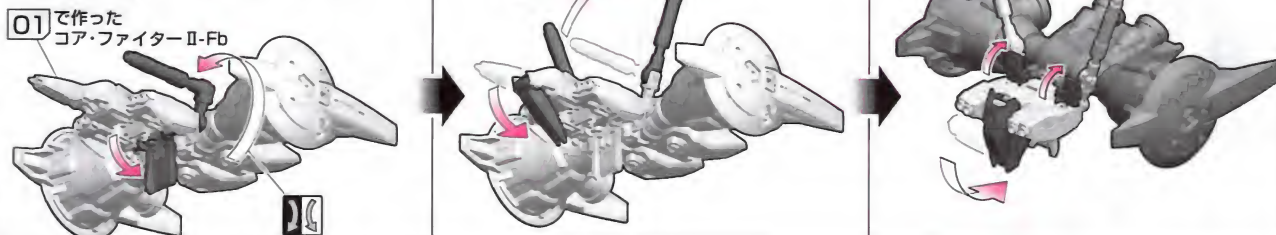
10-2



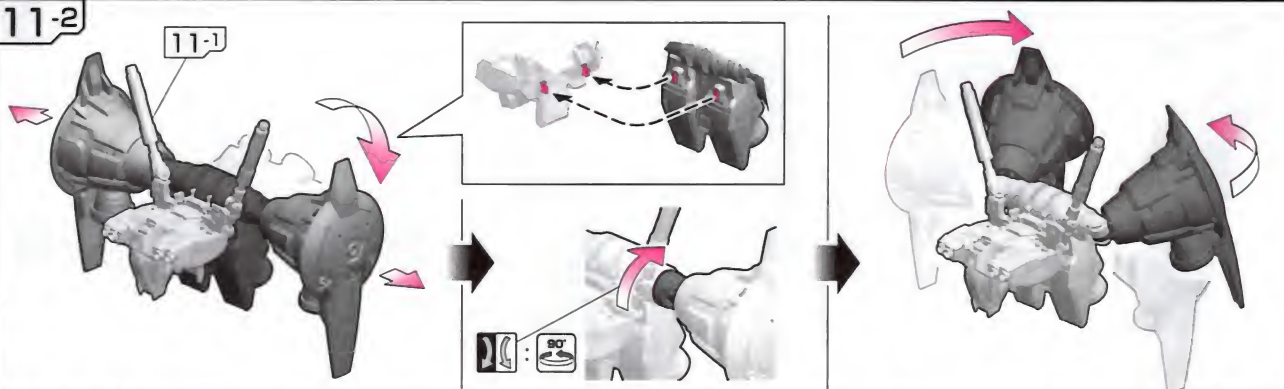
11-1 [コア・ファイター II-Fbの変形]

CORE BLOCK SYSTEM

※ランディングギア (A9, A10)、G9は外しておきます。



11-2



12

※組立図中の
記号説明

! 向きに注意して
組み立てる

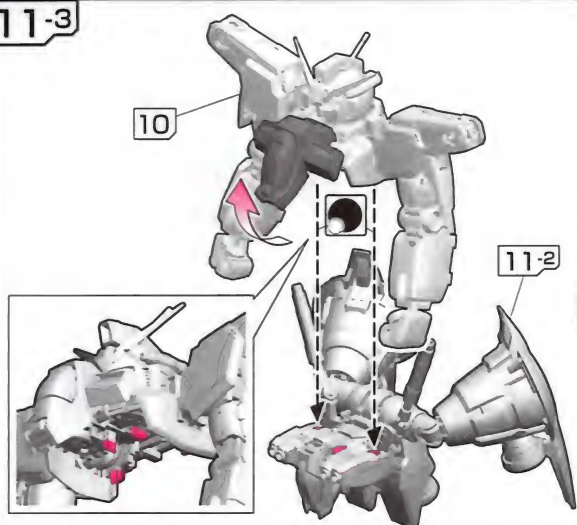
① シールの
番号

どちらかを選んで
取りつける

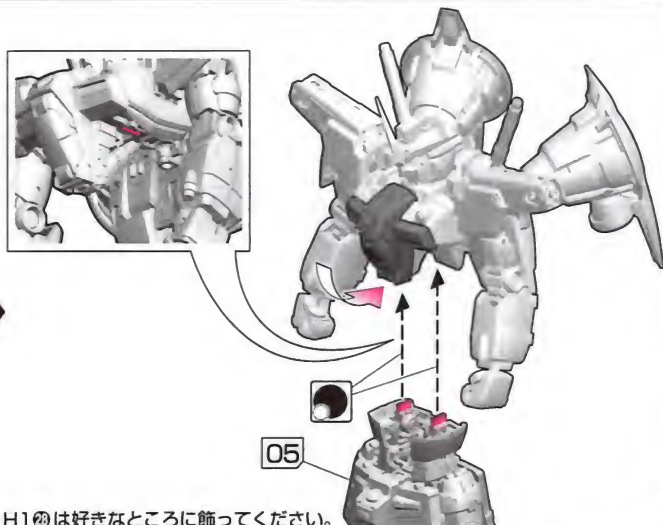
先に
組み立てる

両側を同じ
ように動かす

90° 数値に合わせて
回転させる



※H1は好きなところに飾ってください。



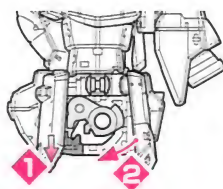
11-4 <コクピットハッチの開け方>



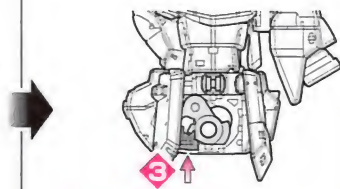
<脚の可動範囲の広げ方>

※脚の可動範囲が広がります。

- ① ロックを下げます。
- ② 股間軸を前に動かします。



※説明のため、一部イラストを省略しています。



- ③ ロックを上げます。

WEAPON



| 60mmバルカン砲 |

GP01Fbが頭部に2門装備する機銃。60mm口径の実弾を高速で連射し、至近距離であれば敵機に致命的なダメージを与える事も可能。

| 専用シールド |

アンチ・ビームコーティングが施されており、ビーム砲の直撃でも数回なら防御することができる。移行や移送時に配慮して全長を短縮できるほか、ビーム・ライフルのエネルギーバックを2基マウントすることができる。



| ビーム・ライフル |

当時としては画期的なエネルギーバック方式を採用しており、トータルでの射撃可能回数が倍増している。近接戦闘時に敵機のソード系ビーム兵器を防御できる“ジュッ”をバルルの下部に装備しているのが特徴。

| ビーム・サーベル |

コア・ファイターに装備されている状態でビーム・ガンとしても使用できる。その威力は当初ほとんど使い物にならなかったが、Fbへの改装に伴うユニット更新とジェネレーター出力の向上もあって有効な武装となった。



WEAPONS

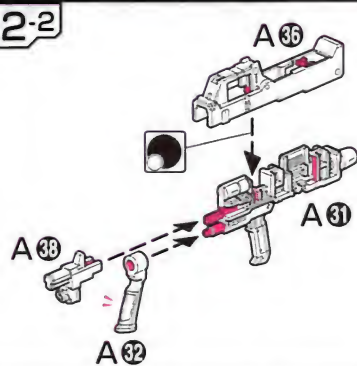


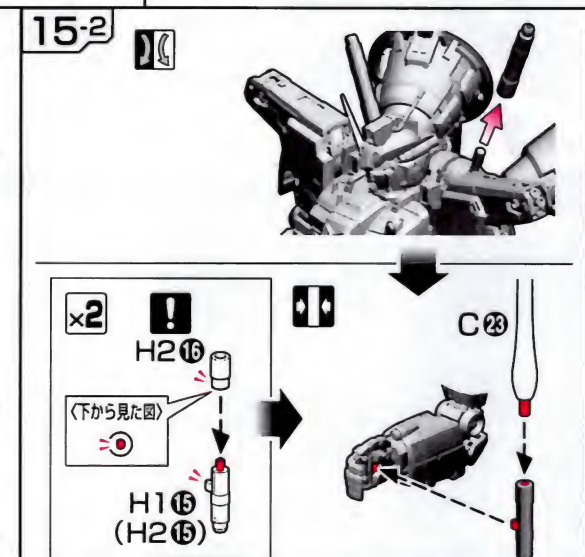
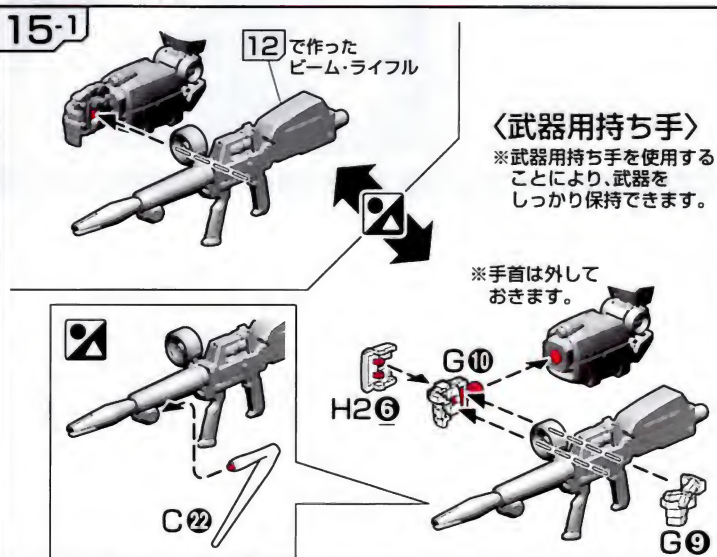
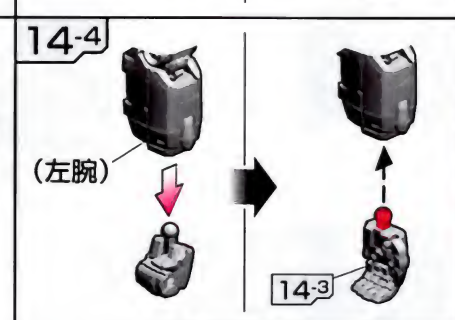
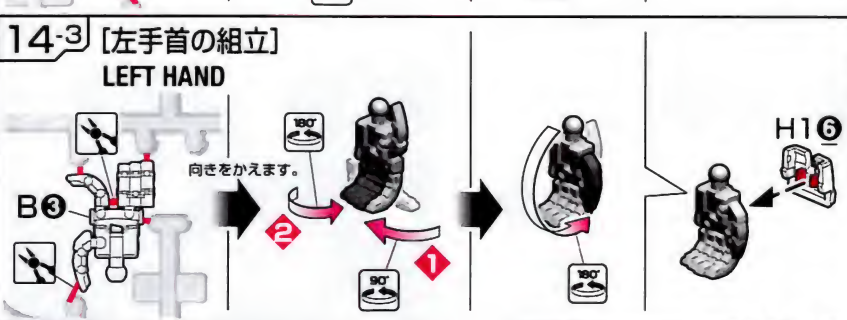
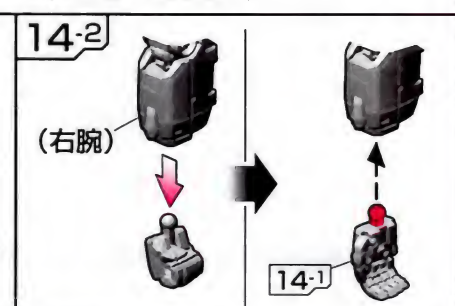
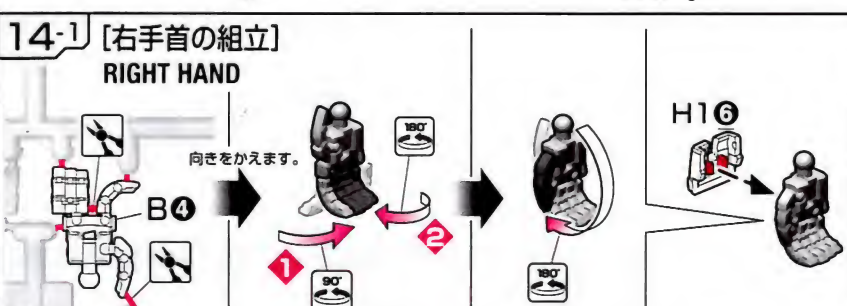
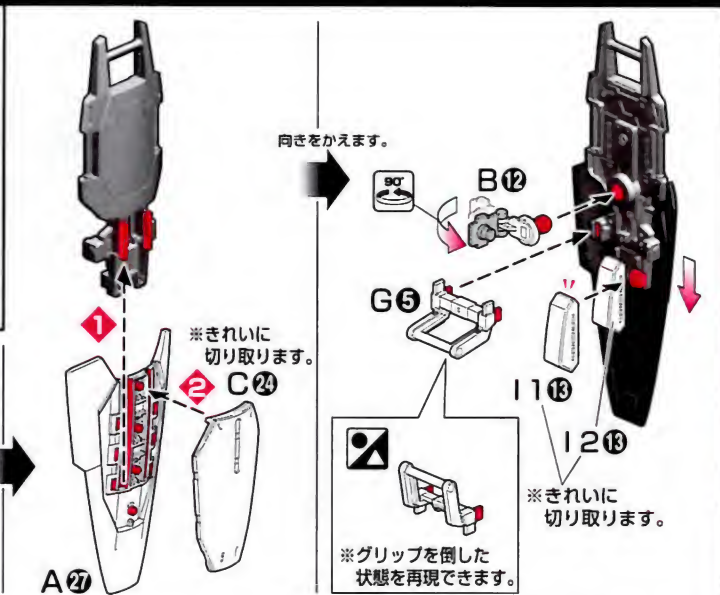
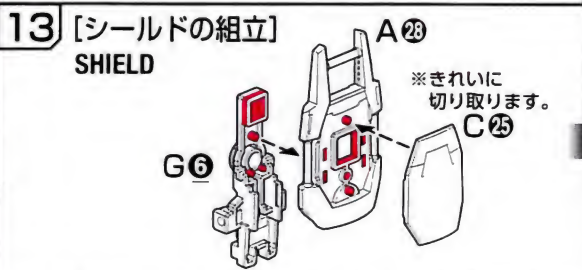
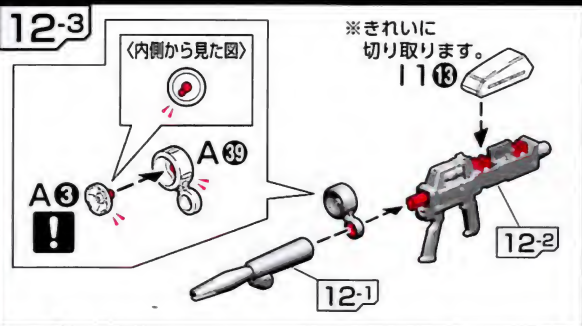
12-1 [ビーム・ライフルの組立] BEAM RIFLE

※きれいに切り取ります。

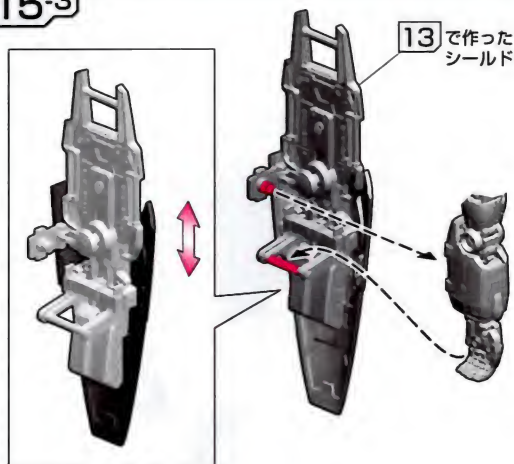


12-2



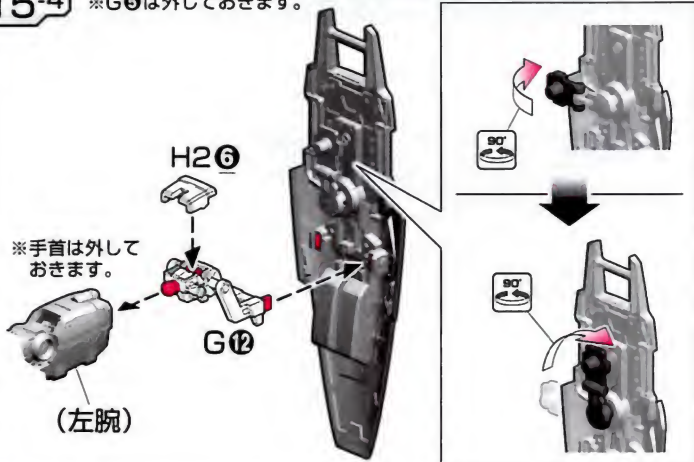


15-3



15-4

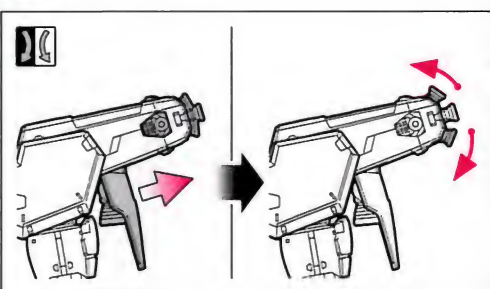
※G⑤は外しておきます。



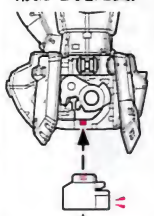
※手首は外しておきます。

(左腕)

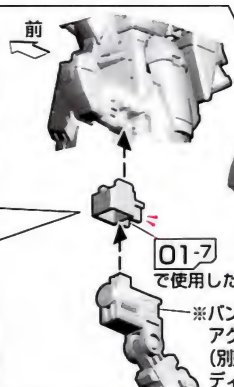
15-5



〈横から見た図〉



※説明のため、
一部イラストを
省略しています。

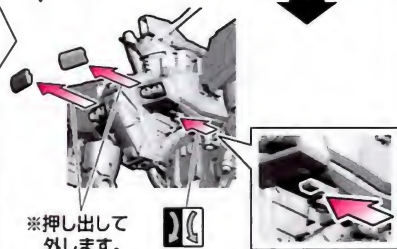
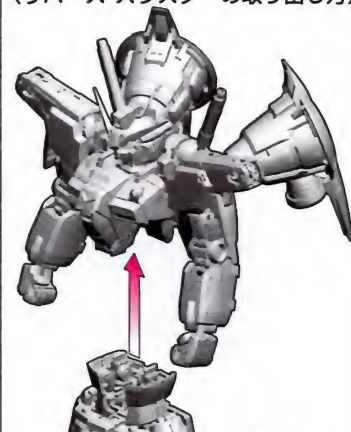


01-7
で使ったG③

※バンダイプラモデル
アクションベース2
(別売り)を使用して
ディスプレイできます。



＜リバーズ・スラスターの取り出し方＞



※押し出して
外します。

(お問い合わせのお客様へ)万一一部品に不良品がありましたら、その部品を取りはすし、商品名、部品の記号、部品番号、不具合の症状を書き、下記までお送りください。良品と交換させていただきます。また、部品をこしらえ、なくした場合は部品通販をご利用ください。代金は料金表を参照していただき、商品番号/商品名/部品の記号/部品番号/数量を明記していただき、部品注文カード(部品注文カードのコピー、手書き可)、部品代+送料の料金(100円単位を定額小為替、10円単位を切手)と共に封書にてお送りください(封書の裏に必ずお客様のお名前/ご住所/年齢をお書きください)。送料は実際に部品をご用意した際の重量によって変わります。また、別途手数料が必要な送付方法をご希望の場合、別料金となります。料金の不足はご請求、超過分は残額をお返し致します。ただし、それ以外にかかった手数料等はお客様のご負担となります。在庫がない部品は誠に申し訳ございませんがご注文をお返し致します。ご記入いただきました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用致しません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくは http://bandai-hobby.net/SC/2007/10/post_55.html ▶「部品注文のしかた」をご参照ください。通信販売等のお客様のご負担となります。※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返金は受け付けておりませんので予めご了承ください。

■申し込み先 〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼 500-12

(株)バンダイ静岡相談センター TEL 054-208-7520

《料金表》●部品代、送料は切り取った1個の料金です。Bパーツはランナー単位での販売です。

部品番号	取扱説明書	Bパーツ	リアリストディック デカル	その他の部品
部品代	150円	700円	300円	各60円
郵送料	200円	140円	80円	120円

- ・電話受付時間 月～金曜日
(祝日を除く) 10:00～16:00
- ・電話番号はよく確かめてお間違いのないようご注意ください。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード

0182655

1/144SCALE RGシリーズ
RX-78GP01Fb ガンダム試作1号機
フルバーニアン

必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む) (こわした・なくした)

・日中ご連絡可能な電話番号 ・年齢
(-) (才)
R2211987 '13.07

: R2211987

'13.07

2013.07/T · ON

※コピー使用可

※組立図中の 記号説明



数値に合わせて
回転させる



両側を同じ
ように動かす

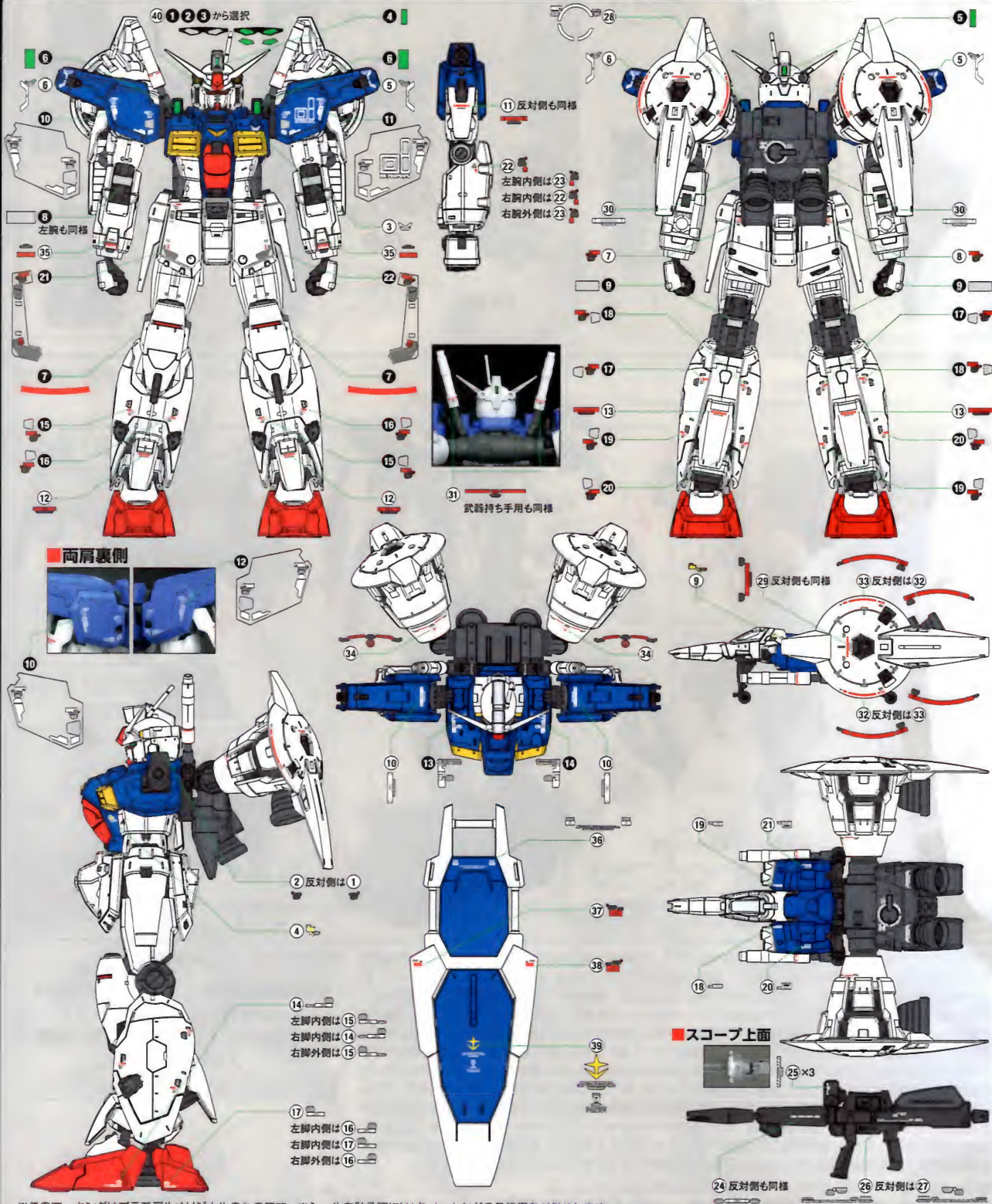
REALISTIC DECAL

下の図を見てマーキングの貼る位置を確認してください。

※マーキングシールを貼る位置を数字で表記してあります。

※黒丸白文字の部分は金属の輝きを表現したシールです。このシールを貼るだけで、メカニカルな質感を楽しめます。

※余ったマーキングは好きな所に貼ってください。※貼り指示は一例ですので、イメージに合わせてお貼りください。



※このマーキングはプラモデルオリジナルのもです。※シールを貼る際にはピンセットなどのご使用をお勧めします。

COLOR CHART

※濃淡を楽しみたい方は、右の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」の使用をおすすめします。
※ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお控えください。
※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

■ 本体ホワイト部の塗装色。
ホワイト(100%)

■ 本体ホワイトグレー部の塗装色。
ホワイト(95%) + グレー(5%) + ブルー(少量)

■ 胸等ブルー部の塗装色。
インディゴブルー(80%) + ホワイト(40%) + ブルー(少量)

■ 本体赤レッド部の塗装色。
モンゼット(80%) + シャイニングレッド(40%)

■ インターグレイエロー部の塗装色。
イエロー(55%) + ホワイト(30%) + オレンジイエロー(15%)

■ バックパック等グレー部の塗装色。
グレー(80%) + ブラック(20%)

■ ビーム・ライフル等
ダークグレー部の塗装色。
ブラック(70%) + ホワイト(30%)

■ 鋼等の塗装色。
ホワイト(50%) + 薄茶色(50%)

■ 鋼等のブラック部の塗装色。
ブラック(100%) + ホワイト(少量)

■ 深黒ホワイト部の塗装色。
ホワイト(100%)

■ 深黒ライトブルー部の塗装色。
白色(100%) + ベルグリン(少量) + ホワイト(少量)

■ 上蓋ダークグレー部の塗装色。
ミッドナイトブルー(80%) + ホワイト(20%)

■ 胸マークレッド部の塗装色。
モンゼット(100%)

■ 胸マークイエロー部の塗装色。
イエロー(60%) + オレンジイエロー(40%)

■ 腕グレー部の塗装色。
グレー(100%)